

がれき下の救出 県警と業者訓練

八 街

大地震などに備え、
県警は県内の解体工事
業者と協力して、がれ
きや土砂に埋まった人
を救助する災害対策訓
練を行った。

八街市内で2月23日
にあった訓練は、がれ
き処理を行う廃棄物処
理会社「大同産業」(同
市八街へ)の敷地内で
実施。県警機動隊員ら
約90人がスコップなど

を使って、がれきや土
砂に埋まった負傷者役
の人形を救出した。写
真・県警提供。助けを
求める人の声を録音し
たレコーダーをがれき
の中に入れ、その音だ
けを頼りに居場所を探
す場面もあった。

県警警備課は「実際
にがれきが積み重なっ
た現場で訓練ができた
のは初めて。もし災害
が起きたら、今日の訓
練の成果を生かした
い」と話している。

【黒川晋史】

